

2018年1月11日 第2310回例会  
1月第1例会

RIテーマ ROTARY: MAKING A DIFFERENCE  
「ロータリー:変化をもたらす」

本年度会長テーマ  
「共に学び 共に実践を」

## 「職業奉仕月間」

### ◆ 会長時間 ◆

村上会長



新年あけましておめでとうございます。年末年始をご家族の皆様とゆっくりお過ごしになられたことと思います。

さて、いよいよ下半期が始まります。これから我々の活動はピークを迎えます。これまで同様のご支援ご

協力をお願いいたします。

皆さんは、例会出席と例会活動の重要性についてどのようなお考えをお持ちでしょうか。ロータリーのバイブルと謂われるガイ・ガンディカーの「ロータリー通解」の中にロータリーの中で体験を積むことによって人々はロータリアンになれる、と述べられています。例会において、異業種の優れた多くのフェローロータリアンと交わり、友情を暖め互いに心を磨き合い、事業・人生万般を学ぶこと、これこそがロータリー活動の目的ではないでしょうか。職業奉仕の実践はまず例会出席に始まります。ロータリアンとして例会出席の重要性を今一度肝に銘じなければならないと思います。

### 米山記念奨学会 米山功労者感謝状の伝達



第1回 浜田 広君



第3回 原 敬君

### ● 会務報告 前橋幹事

※ロータリーレートが1月から1ドル114円（12月まで112円）に変更になりました。

※例会終了後、4階「アマリス」において1月定例理事会を開催いたしますので、理事会メンバーは出席願います。

※ボックスに2016-17年度地区活動報告書を配布しております。

### ★ 第2回中間報告 (報告期間2017年11月16日~12月30日)

国際ロータリー第2710地区

2017-2018年度グローバル補助金奨学生

藤原 周平

#### 1. 学業面での成果

学んだこと、具体的には、開発の理論と政策を、国際開発援助の文脈で教育開発に関連付けて話し、説明できるようになったことが成果だと感じています。これは今後国際機関、国際NGOや国内の援助団体で活動を行う上で、必要不可欠な知識であるためです。

秋学期の授業は既に終了しましたが、1月中旬期限の課題として、「国際教育と開発の理論」の

授業で4000字、「国際教育と開発の政策」の授業で2000字の研究課題が与えられています。これらの課題では、まさに、学んだことを国際教育開発の特定の文脈に合わせて、表現することが求められています。例えば、「国際教育と開発の理論」の課題では、学んだ理論の一つを選び、それがどのように国際教育開発に影響を与えているかを特定のケーススタディを取り上げ、考察することが求められています。私は、新自由主義（Neoliberalism）という理論を扱い、それがどのように国際教育開発の援助政策に影響を与えているかを論ずる予定です。具体的な文脈としては、ウガンダの中等学校教育で取り組みが進んでいる官民の協力（Public Private Partnership）の有効性について考察します。なお、新自由主義とは簡略化すると、自由な市場競争を促し、政府による介入を最小限に抑えることが、個人や国を豊かにするという考えです。

このように、国際開発援助に関連する一般的な理論や政策を、特定の教育開発のケースに結びつけて説明し、影響を分析・推測できるようになったことが、大きな収穫です。

## 2. 受入地区でのロータリーとの関わり、奉仕活動、カウンセラーとの交流

11月16日に受け入れ先クラブの定例会に参加してきました。これで2回目になります。この時は、クラブが行っているプロジェクトである、タンザニアにあるザンジバル島の人々を支援するプロジェクトの紹介として、一人の青年が招かれプロジェクトの活動報告が行われました。まだ大学生程の年齢の青年が率先して、ザンジバル島に足を運び、現地で試行錯誤しながら活動をしていて、感銘を受けました。

12月1日には、地区内のロータリークラブが合同で行うクリスマスパーティに参加しました。最も印象的だったのは、食事が終わり始めた頃から少しずつ参加者が立って踊り始め、多くの方がダンスを楽しんでいたことです。会場は、音楽が流れるとともに、カラフルなライトで照らされていて、私にとっては、とても新鮮なクリスマスパーティでした。

さらに、12月8日には、毎年恒例の受け入れ地区内のクラブが合同で行っている募金活動に参加してきました。夕方の6時から8時までの間、住宅街を一軒一軒訪ねて、子供達にお菓子を配ると

ともに、地区内の慈善活動のための募金をお願いしました。ご家庭を一軒一軒訪ねて募金を行うというのは、初めてで、日本ではあまり馴染みのない活動のため、当初は困惑していましたが、人々は非常に協力的で大多数のご家庭が寄付してくれました。イギリスでは、寄付の文化が深く根付いているのだなという印象を受けました。一方で、地区内のクラブが毎年合同で行っている活動で、多くの人々に既に認知されていたというのも、大多数のご家庭が協力的であった理由の一つであると考えられます。当日は、非常に寒く、野外を歩きながら2時間募金活動を行うことは、体力的に厳しかったです。いざ終了すると多くの人々からの笑顔や温かさに触れることができ、晴れ晴れとした気持ちになりました。ロータリークラブが地域に根付いていることを印象づける活動に参加することができ大変嬉しかったです。

クリスマス休暇は、キャンパス内で過ごしていましたが、カウンセラーであるクリスさんからお誘いを受け、12月28日に昼食をクリスさん宅でご一緒させていただきました。パートナーであるロットさん、そして、私の友人の計4名で昼食を楽しみ、交流を深めました。昼食は、私が日本に滞在していた時に、築地の寿司屋で働いていた経験がありましたので、巻き寿司を作ろうと提案し、私が鉄火巻き、きゅうり巻、鮪&アボガド巻きを用意して、召し上がっていただきました。とても美味しいと言ってもらって嬉しかったです。食後のデザートは、ロットさんが作ったチョコレートケーキと蜂蜜味のアイスクリームをご馳走になりました。イギリスに来てから食べたデザートの中で、一番美味でした。巻き寿司を喜んでいただきましたし、良い交流になりました。



参加2回目の定例会にて



クリスマスパーティにて



募金活動、  
サンタクロースと共に



住宅街を  
クリスマスカーが通る様子

### 3. 直面した課題、問題点等

前回の報告書でも言及しましたが、英語を十分に聞き取り、伝えたいことを即席で発信する能力が足りないという課題があります。ただし、この課題は、現在学んでいる大学院を終えて、今後開発途上国で働いていく中でも、続いて課題となることだと考えています。長期的な観点から、一つ一つの積み重ねが重要になってくると思っています。今出来ることとしては、授業で出来るだけ自分から発言する機会を増やし、授業外の日常生活でも様々な国籍の人々と積極的に会話することだと感じるので、これらを当然のことと意識して実行に移したいと思えます。

### 4. 今後の課題、目標

今後の課題として重要なのは、どのような内容の修士論文を書くかを決定することです。去年所属していましたアジア経済研究所開発スクールでは、ニジェールの初等教育における自立型学校経営導入の影響について論文を書きましたので、地方分権化された教育システムに関連した内容を書くと考えていました。しかし、秋学期での授業で、国際教育開発の理論と政策を幅広く学ぶ中で、今後の教育開発の潮流を踏まえた上で、熟考が必要であると考えようになりました。1月中旬から2月初旬まで冬休暇に入りますので、この時にどのような内容を書くかをより明確にしていきたいと考えています。

加えて、どのような手法で修士論文を書くかを決定することです。特に、私は、量的研究手法（統計学を使用したより数学的手法）に興味があるため、この手法を論文の中に含めたいと考えています。そして、どの程度までそれが可能であるかを研究する分野との内容と合わせて考える必要があります。出来る限り早く、論文の内容を明確化した上で、量的研究手法に詳しい教授にサポートをいただきながら、次回の報告までには、決定しておきたいと思えます。

### 5. その他特記事項

国際教育開発コースには、約50名の学生が所属しますが、コース内の生徒委員長になりましたことを前回の報告書で書きました。ここでは、生徒委員長として実施したことについて書きます。なお、この生徒委員長は、大学主導で、オンラインベースでの選挙によって選出され、私以外に、ノルウェー人のクラスメイトが選ばれました。

まず、第一に、教室が狭いという問題に対処するために、コース内で投票を行うことで解決しました。当初、何か改善すべきことはないかと思い、クラスメイトとの会話を通して、コース内での不満や問題などをコース担当の教授と話し合う機会がありました。その中でも、50名入れるには教室が狭く、窮屈に感じるクラスメイトが多くいるということがより大きな問題として認識されていたため、そのことをコース担当教授と解決案を含めて協議しました。その結果、クラスを分割する、同じ内容であるが他のコース・曜日で実施されている授業に参加する等の実行可能な案を提示できることが分かり、それらの案から最も望ましいものをオンライン投票によって決定しました。議論によって決めることもできましたが、授業時間を使うことはできませんし、全てのクラスメイトがある特定の授業外の時間に集まることも不可能に近いので、オンラインの投票を選択しました。結果、何も変えないという選択が一番多く、何か施策を実施することはありませんでしたが、この投票を通して、結果に対して多くのクラスメイトから合意を得ることができ、コースの運営に対して、貢献することができたのではないかと考えています。その他、コース全体で行うクリスマスパーティの出欠確認や集金などの雑務を行いました。今後もコース全体が良い方向に向かうよう何か出来ることを行い、貢献していければと思います。

### ● 委員会報告

#### ✎ プログラム・出席委員会

##### 出席報告 木本君

本日 (1月11日・木曜日)			
会員数	80名	出席者	67名
欠席者	13名	ご来客	0名
ご来賓	0名	ゲスト	0名
		計	67名
前々回 (12月14日・木曜日)			
出席率	100%		



### ● 同好会報告

#### ◆ 紫輪会 松岡(輝)世話人

本日、新年会をうを久にて18時30分より開催いたします。よろしくお願ひいたします。

## ● 会員記念日

祝 1月お誕生日おめでとうございます。

(7名)

岡野君 石山君 荒谷君 金本君  
諏訪(昭登)君 井原君 安部君



## ● スマイルボックス

SAA 小田委員長

### 👤 山木君 (自主申告・大枚)

昨年12月18日の県議会本会議において、第66代広島県議会議長に選任されました。責任の重大さを痛感しておる所です。64人の議員のうち53名の議員が、山木靖雄と書いてくださり、期待にこたえる活躍をしなくてはと決意を新たにしております。

三期目に入った湯崎県政をささえるべく、議会として是々非々でのぞむこととしています。ロータリーの会員の皆さんの御指導、御協力を願ひいたします。

### 👤 福田君 (自主申告・大枚)

この度尾鍋外科病院では、創立40周年を記念して「尾鍋外科病院40年のあゆみ」を発刊いたしました。尾鍋隆先生がお亡くなりになり5年が経過しましたが、尾鍋先生のご功績を讃えると共に、先生の懐かしい思い出を残すために企画いたしました。諏訪(昭登)君、山木君、尾形君にはお忙しい中ご寄稿いただき、この場を借りてお礼申し上げます。尚、尾鍋先生と懇意にして戴いた会員の方には記念誌をお送りさせていただきましたが、ご希望の方がありましたら事務局にお申し出ください。

尾鍋外科病院は新しい経営陣の下で再出発しております。数年以内には新築移転を予定し、市民のお役に立てる病院づくりに邁進したいと考えておりますので、皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。

### 👤 松田君 (自主申告・大枚)

昨年のクリスマスに、長男理志(さとし)が誕生しました。我が子の健やかな成長を願って、出宝いたします。

### 👤 囲碁同好会の7名(安部君、浜田君、日域君、香川(基)君、尾形君、小田君、田中君)

広島西ロータリークラブ創立40周年記念誌によると、西ロータリークラブ設立とほぼ同時期に同好会ができたようですが、正確な発足日は不明です。そこで、囲碁の日である1月5日を、

囲碁同好会の御祝いの日とさせていただきます。会員が増加し、もっと活気ある同好会にされることを祈念して、御出宝願ひします。

### 👤 クリスマス例会から

家族同伴例会での1万円以上の高額商品獲得者の方、おめでとうございます。御出宝願ひいたします。

日域君、井原君、長谷川君、中山君、土井君、新原君、井下君、前橋君、豊岡君、上野(寛)君、川村君、村上会長、小橋君、藤田君、佐久間君、田原君、鮫島君、柳原君、笹野君、安部君(園尾君が辞退され安部君がいたたかれたため)、斉藤君、小田君、香川直前会長、部谷君

### 👤 全員出宝

本日は、今年初めての例会です。今年1年間のロータリー活動を全員で取り組んでいくことを年頭の誓いとして、全員出宝を願ひします。

### 👤 藤田君

12月25日付中国新聞によりますと、爆心地から600メートルの浄国寺が、地域の被爆死を広く伝えていくための境内の工事が、12月に終えたそうです。「西地区、西新町町民慰霊碑」と「広島県防空機動隊員慰霊碑」の2つの碑を建て直して名前を刻んだ石も揃え、離れたところにあった被爆した地蔵もそばに移したそうです。また、永代供養墓を築き、身元の分からない原爆犠牲者の遺骨も納めて供養されるということです。末永く原爆に関する継承を続けていただくことを願ひし、御出宝を願ひします。

## ■ 卓 話

# 年 男 放 談



## 年男ならぬ 年男放談

諏訪 昭登君  
(84歳)

私は昭和8年12月24日、今上天皇誕生の翌日、未熟児で出生したため届けが翌年1月20日となり、それ故自分は酉年だとの認識なので毎年違和感が

あるのは仕方ないことだろう。

さて、この12年は私にとってロータリアンとしてみんなの役に立とうという自我第二の任務即ち地区ガバナーそしてパストガバナーの役割を果たすことに心血を注入した期間でした。それについては昨年「ガバナー年度ミニ回顧」の卓話をしているので控えますが、一転して自分の気持ちを強調した若き日の思い出の一端をお話しくことにします。

私の生い立ちは、幼少時から父の外地出征で母と二人生活、しかも病弱で幼稚園からやっと入学できた小学校中学年頃まで、家の中での一人遊びが常であった。その主なものに手巻き蓄音器があり、当時の流行歌、落語、浪花節、都々逸、端唄などを無心に聞いていた。この経験がのちに真面目な事業生活の傍ら他に趣味、道楽を迫る私の性格の一面が構成されたのではないかと思う。原爆被爆の結果とは言いませんが何故か別人の様に健康体となって戦後、中学生の頃から25年前迄は、カメラ、流行歌、ジャズ、映画、詩歌、オートバイや四輪スポーツ、小唄、ゴルフ、歴史文学、そして投げ釣りや探り釣りなど、それぞれかなりの熱中でした。この中で最も根性が入ったのは小唄であった。幼少期の蓄音器遊びがその原点のように思う。素人の趣味道楽は所詮自己満足かもしれないが、短い時間ですがこれから私が最も喜びと誇りとしている小唄関連の話を少しお話します。

- ・邦楽 浄瑠璃、常盤津、清元、長唄など多数あり。
- ・小唄の始祖 自在庵隆達とされ、織田信長、豊臣秀吉、古田織部らに認められた「小唄（隆達節）」を源とする。
- ・発展 江戸文化発達の中で隆達節が主に遊里で流行し、江戸中期に清元お葉が「江戸小唄」の名で「小唄」の元祖とされている。江戸末期には端唄、歌沢と共に流行した。
- ・確立 明治、大正期には作詞者の河竹黙阿弥や作曲者の吉田草紙庵などが大きな貢献をし、邦楽としての立場を確立した。

小唄とはしっとりとしていて洒脱、また艶っぽく江戸前の雰囲気がある。俗に「四畳半の芸」などともいわれ、小座敷でささやくように唄われ、三味線も爪弾きと言って撥を使わず指先（肉の部分）で静かに弾き、歌と踊り（小唄振り）を楽しむ。

- ・昭和に入ると戦中を除き「三ご」即ち小唄、ゴルフ、囲碁の三つが紳士の嗜みとされ高名な政

治家、学者、作家、経済人などが揃って小唄に熱中。戦後も昭和後期まで一般的にも大きな流行を見た。

- ・重ねて小唄とは 「粋・艶・華の世界」
  - ・小唄は 人生の寂しさ、男女の仲の哀しさや喜び、日々の暮らしの思い、また季節の移り変わりを情景としてとらえて詞にして唄い楽しむ。
- 私は子供も生まれ、家族の希望もあってモーターサイクル活動を一段落させ、優しかった継母の死も重なって心静かな心境を求め、それが小唄への道だった。
- ・昭和38年夏 本木派小唄“本木寿以染”師匠に入門（29歳）。
  - ・昭和41年10月 月4回の稽古を殆ど皆勤で励んだ所為か「本木寿以染昭」の“名取り”。
  - ・昭和43年3月 家元創派30周年・紫綬褒章受章記念小唄大会（全国の師範達が出演）、東京歌舞伎座本舞台で小唄二題を唄う光栄に浴す。楽屋が長谷川一夫さんのすぐ近くだったのには驚いた思い出。

- ・昭和45年まで 名取り以降、広島名流小唄会に毎年出演。各種小唄会に多数出演。その頃私の夜間外出着（遊び着）の半分は和服で、思い出しても本当に楽しいひと時代。

やがて仕事も多忙でJ CそしてR Cへの入会が重なったのを機に、小唄の幕を師匠に詫びながら下ろした。私は30歳半ばで所謂、旦那芸を卒業して青年に戻った。

こんな私をよく理解し支援して呉れて明るく元気で、間もなく結婚60年を迎える妻 博子に心から感謝している。次の年男は84+12=96歳なので元気で頑張ろうと思います。

最後に歌舞伎座出演時のレコードから私の小唄を流しながら終わります。有難うございました。



## 年男放談

梶本 政明君

今年3月に還暦を迎える梶本です。今回、年男放談ということでお話をしたいと思いますが、ゴルフのことではなく会社のことについて卓話させていただきます。祖父の代から始めて創業127年

を超えましたが、今の基礎を作ってくれた父には感謝しております。会社の承継の仕方には、色々な形があるかと思います。家具販売を継続することが今後の時代のニーズにあっているのか、それとも違う道を歩む方がベストなのかを考慮した結果、ホテルの賃貸へ集中したほうが良いと判断をいたしました。家具の店舗を売却したことは、会社を大きくした父にはショックであったでしょうが、今現在を鑑みると良かったと思っています。いつでもゴルフできますので？

### 梶本産業株式会社

#### 沿革

- 1890年10月 広島市斜屋町にて、家具店を創業
- 1916年 3月 広島市山口町3番地に移転
- 1948年11月 資本金100万円で株式会社梶本家具店を設立
- 1963年 8月 広島市幟町14番地7号に本新社屋ビル完工し、社名を梶本産業株式会社へ変更。資本金1000万円に増資。東京、静岡、大阪、福岡へ倉庫を作り、卸しも始める。伊勢丹百貨店、太陽家具、イズミなど
- 1973年 5月 資本金6000万円へ増資。幟町本店、古市支店、海田支店、呉支店、広島支店、福山支店、五日市支店、に自社ビルを建設
- 1986年11月 景気の低迷により本社を解体し、ビジネスホテルを新築。小売りは古市支店、海田支店、呉支店、五日市支店で営業する。ホテルの契約が、地産トーカーン→ジェネラス→オリックスと変更し契約
- 2005年12月 各支店を売却し、家具の小売りから撤退。雑貨店と卸しは継続する
- 2006年 2月 ソラーレホテルアンドリゾートと契約
- 2015年12月 ソラーレホテルアンドリゾートと2027年まで再契約をする
- 2017年11月 創業127年を迎える



## 成年 年男の談話

中山 敬一君  
(昭和21年5月26日 成年生まれ)

去年の暮れに、クラス会が開催され男性6人、女性3人が集まり居酒屋で食事会をしました。

丁度その頃、厚生労働省から成年の平均寿命が発表されたところで、団塊世代を迎えた我々の身近な話題として盛り上がりました。平均寿命とは、0歳の人が生きられる平均寿命のことで、男性80.79年、女性81.08年だそうです。

平均余命は、平成28年度の70歳の男性の余命年齢は15.72年で、女性の平均余命年齢は19.98年と発表されました。

今年28歳の72歳の男性の余命年齢は、前年との差が0.11、女性が0.12あるそうですので72歳成年の平均余命は男性15.5年、女性19.74年となり、男性87.5歳のころに、現在生きている男性の半分になるようです。女性では91.74歳のころに、生存者の半分になるようです。

平均寿命の差となる死因別に分類すると1番が、悪性新生物(0.08%の死亡率があります)。2番が、心疾患(0.02%の死亡率があります)で、3番が、脳血管での死亡(0.03%死亡率があるようです)。これらの病気を早期発見するために、生活習慣の改善が急務です。そのためには1. タバコは吸わない 2. お酒はほどほどに 3. バランスある食生活を実施 4. 適度な運動を実施 5. 適切な体重を維持することが大切です。

以上を心がけて健康な老後を迎えましょう。

#### ● 卓話予告

日時	テーマ
1/25(木)	クラブフォーラム (職業奉仕部門)

例会日・木曜日 12:30~13:30  
 例会場・ANAクラウンプラザホテル広島  
 会長 村上 智亮  
 幹事 前橋 寛

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78  
 リーガロイヤルホテル広島13F  
 TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870  
 E-mail: hwrc@godorc.gr.jp  
 作成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC 検索